

令和8年度 推進計画

高知県技能振興コーナー

基本方針

若者のものづくり離れが見られる中、ものづくり産業が競争力を維持し、発展を遂げていくためには、産業の基盤となる高度な技能を有する技能者の育成が不可欠です。

このため、この若年技能者人材育成支援等事業を通じて、関係者と連携しながらものづくり尊重の機運を高めるとともに、技能に関心を持つ若者たちを育成する環境づくりや高度な技能を有する技能者の育成等に取り組んでいきます。

事業内容

1 ものづくりマイスターの認定・登録

(1) ものづくりマイスターの開拓

ものづくりマイスターが不足する職種やものづくりマイスターへの負荷が過大になっている職種、県内企業や工業高校からのニーズがある「機械加工」、「機械検査」等の機械金属関連職種で活動が可能な技能士を中心に候補者を開拓します。

(2) ものづくりマイスターの認定

高度な技能を持った技能士等のうち、ものづくりマイスターにふさわしい人材の掘り起こしを行い、中央技能振興センターへの認定申請を行います（目標：4人程度）。

(3) ものづくりマイスターに対する研修

ものづくりマイスターが効果的な実技指導等できるよう指導技法等講習を行います。

2 ものづくりマイスター等の活用

(1) ものづくりマイスターの派遣による指導

(ア) 中小企業への派遣

ものづくりマイスターを中小企業に派遣し、若年技能者の技能向上のための実技指導を行います（目標：94人日程度）。

(イ) 工業高校等への派遣

ものづくりマイスターを工業高校等に派遣し、生徒の技能向上のための実技指導を行います（目標：485人日程度）。

（２）若者に対する「ものづくりの魅力」の発信

（ア）地域若者サポートステーションへの派遣

ものづくりマイスターを地域若者サポートステーションに派遣し、事業対象者にもものづくりに関心を持ってもらうとともに、就労意欲の喚起につながるよう、ものづくり体験等を行います（目標：４人日程度）。

（イ）小・中学校等への派遣

ものづくりマイスターを小・中学校等に派遣し、児童・生徒に、「ものづくり」や「その職業」に興味を持ってもらうことを目的として、「ものづくり」の魅力を伝える「ものづくり体験授業」を行います（目標：５７９人日程度）。

（ウ）小・中学校等の児童・生徒を主として不特定多数の者に対する「ものづくり魅力」発信

小・中学校等の児童・生徒を主として不特定多数の者に対して、ものづくりマイスターによる「ものづくり魅力」発信を行います（目標：４０人日程度）。

３ 地域における技能振興事業

（１）技能五輪全国大会の予選会等の実施

「第 64 回技能五輪全国大会」参加選手の選考のため、県予選会等（業界団体・専門学校・事業者からの推薦を含む）の成績優秀者を独自の選考基準に基づき審査し、技能が優秀で全国大会の出場選手に相応しいと認められるものを参加選手として推薦します。

（参加選手推薦目標数 ４職種 被推薦者数 ６人以内）

（２）技能五輪全国大会への参加選手の推薦及び参加支援

「第 64 回技能五輪全国大会」や「第 21 回若年者ものづくり競技大会」への参加選手等に対して、旅費や工具等運搬費などの支援を行います。

（参加選手目標数 技能五輪全国大会 ６人以内、若年者ものづくり競技大会 １人）

４ 連携会議の設置・運営

ものづくりマイスターの派遣や技能振興の取組み、事業実施にあたっての連携及び協力のあり方などについて協議し、事業の円滑な推進を図ることを目的として、次を構成メンバーとした連携会議を年２回（６月、１２月）開催します。

- ・高知労働局職業安定部訓練課
- ・高知県商工労働部雇用労働政策課
- ・高知県教育委員会高等学校課
- ・一般社団法人 高知県工業会
- ・高知県経営者協会
- ・高知職業能力開発促進センター